

第3回定期検査開始 ～安全最優先で作業を進めてまいります～

東通原子力発電所1号機は、平成21年9月12日(土)から約4カ月間の予定で第3回定期検査を実施しています。

定期検査は電気事業法に基づき、原子炉および付属設備等が国の定める技術基準に適合し、健全性が確保されていることを確認するために実施するもので、人で例えると人間ドックのようなものです。

検査の概要は以下のとおりです。

定期検査工程および主要な点検概要

(1) 定期検査工程

平成21年9月12日(土)から約4カ月の予定で実施します。

(2) 定期検査期間中に実施する主要な点検等の概要

a. 燃料集合体の取り替え

原子炉の中に764体設置されている燃料集合体のうち、208体程度を取り替えます。

b. 制御棒駆動機構の点検

核分裂反応を止めるなどの役割を果たしている制御棒を駆動させる機構185体のうち、26体を取り外し、そのうち14体について分解点検を行い、残り12体については予備品と取り替えます。

c. 出力領域モニタの取り替え

43本ある原子炉内の中性子量を計測する装置のうち、性能機能維持を図るために9本を取り替えます。

d. 復水器細管の点検

タービンで仕事を終えた蒸気を冷やすための海水が通る細管28,168本のうち、10,848本について点検し、必要に応じて補修を行います。



定期検査の様子(タービン建屋)

安定供給のため、変圧器の昇圧工事を行います

下北半島に今後建設される原子力発電所から発生する電力の輸送や、電力の安定供給を図るため、東通村から宮城県仙台市までの50万ボルト基幹送電線を新たに構築する予定としております。

このため今回の定期検査において、主変圧器などの電圧を、27万5千ボルトから50万ボルトへ昇圧する工事を実施します。



昇圧工事を行う主変圧器

発電所員・協力会社の皆さんと一致団結し、安全作業に徹します ～第3回定期点検工事安全衛生大会実施～

東通原子力発電所では、第3回定期点検工事における、工事関係者の無事故・無災害を達成することを目的として、9月8日(火)に安全衛生大会を開催し、発電所員・協力会社の方々約700人が参加しました。

本大会では、外部講師を招いての災害防止に関する安全講話やインフルエンザ予防対策などの衛生講話により、安全衛生に対する意識の高揚を図りました。

また安全標語の唱和や安全宣言を掲げ、無事故・無災害で作業に従事することを誓い合いました。



大会を開催し、安全衛生の重要性を再認識する

定期検査に伴い関係車両の往来が増えることから、交通法令の遵守、安全運転・交通マナーの励行を徹底し、地域の皆さまにご迷惑をおかけしないようにいたします。

今後も地域の皆さまに信頼していただける発電所を目指して取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。

地域の皆さまとともに歩んでまいります 発電所各課の紹介(第9回)

東通原子力発電所には1室10課の部署があります。9回目となる今回の各課紹介は「立地地域課」を紹介いたします。

私たち立地地域課は、東通村および近隣市町村の方々や、行政機関・関係漁協等の方々との日常の対話を通じて発電所を身近に感じて頂けるよう、様々な活動を行っています。

具体的には、発電所運転に関係する情報提供、発電所主催イベント(発電所長杯ゲートボール大会等)の企画と運営、発電所に関係する用地業務や官公庁申請業務の連絡調整窓口、また、「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」や「産業まつり」等への参加、協力を担当しています。

発電所では「電気」や「放射線」といった目に見えないものを扱っていますが、私たちの課は、発電所の「見える顔」として地域の皆さまとの信頼関係をより強くするために日常業務に取り組んでいます。

立地地域課長 工藤 政昭



青森市(旧浪岡町)出身で東通勤務は1年2カ月が経ちました。東通村の海の幸、山の幸を十分に堪能しております。地域の皆さまとのふれあいを大切にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



立地地域課

私たちは地域の皆さま方とのふれあいを大切に、一緒になってこの東通村が益々元気になればと願っております。私たちを見かけましたら気軽にお声がけください。



昨年の産業まつりでのひとコマ



老部川河口堰の清掃活動に参加

佐々木 健仁(岩手県出身)



東通での勤務も3年目になりました。こちらの海の幸のおいしさに感激しています。老部、白糠、泊地区を担当していますので見かけましたら気軽に声をかけて下さい。

道又 和哉(岩手県出身)



発電所の用地管理と、東通村役場の方々や発電所との連絡・調整などを行っています。地域の皆さまから親しまれ、信頼される発電所作りを目指して頑張っています。

発電所トピックス1 油火災を想定した消防訓練を実施

8月25日に発電所構内において、自衛消防隊による消防訓練を実施いたしました。

本訓練は柏崎刈羽原子力発電所での震災を踏まえ、所内変圧器の油火災を想定し、自衛消防隊による初期消火活動が、迅速かつ的確に実施できることを確認するために行ったものです。

更に火災発生時の通報連絡体制の確認・化学消防自動車での初期消火活動も行いました。



防火服・消火機材を装備し消火活動にあたる自衛消防隊



消火責任者へ消火成功を報告する

訓練終了後には社内評価者および東通消防署による訓練全般に関する指導・講評を受け、緊急時の対処方法を再確認しました。

当発電所では、これからも継続的に訓練を実施し、消火活動の更なるレベル向上を目指し取り組んでまいります。

発電所トピックス2 電力企業体チーム『風舞翔吹』出陣!

8月30日に開催された「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」に、発電所員の他に東京電力や協力会社の方々を加えた、総勢62名が、よさこいチーム『風舞翔吹』として参加しました。

祭りに参加して今年で10年目となる節目の年に合わせ、曲と踊りを一新。東北の夏祭りをイメージした躍動感あふれる舞いを披露し、見ている方々から大きな歓声と拍手をいただきました。



メンバーの表情は、今まで一生懸命練習してきた新しい舞いを無事に踊り終えたという安堵感と、晴天の下、たくさんの方々の前で披露できたという満足感に満ち溢れていました。

これからも当発電所では、地域の行事等に積極的に参画し、皆さまとのふれあいを大切にまいります。

